

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 国語		科目名 言語文化		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
前期	書くこと	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解し使っている。((1)エ)	・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。(ア)	・様々な種類の文章の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、論理の展開や文章の構成を工夫して相手に伝えようとしている。
	読むこと	・様々な作品の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。((2)イ)	・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(イ)	・様々な種類の文章の読解を通して、他者の考えを読みとり自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
後期	書くこと	・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解し使っている。((2)エ)	・自分の体験や思い、考えが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。(イ)	・様々な文章の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、論理の展開や文章の構成を工夫して効果的に相手に伝えようとしている。
	読むこと	・様々な作品の世界に親しむために、文学作品を読むために必要な文語の決まりや、古典作品を読むために必要な訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。((2)ウ)	・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えを持っている。(オ)	・様々な種類の作品を読み味わうことで、他者の考えを読みとり自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
主な評価方法		定期考査	定期考査	授業態度 提出物 定期考査
その他				